## 展示コーナーガイド

【お勧め部門・テーマ】 ●：設計/開発　●：情報システム部門　●：生産/生産技術/品管　■：見える化　■：販促　■：業務改善

### 設計情報管理ソリューション
●●
富士ゼロックス株式会社
日立製作所株式会社/日立パワーソリューションズ株式会社

3D CAD「SolidWorks」。構成管理システム「PowerBOM/ST」「成果物管理・出図管理を行う「ArcSuite Engineering」の連携により低コスト開発、短納期開発に貢献できるトータルな仕組みを紹介します。

### エンジニアリング向け　ファイル自動暗号化ソリューション
●●●
ピコテクノロジーズ株式会社

Total File Guardは、暗号化の「手間」や「漏れ」を気にすることなく、自動的に大切な情報ファイルを守ることができる暗号化製品です。また、「CAD/CAM対応」「中国利用」といった、特に製造業で必要とされる要件を網羅しています。

### HAYST法によるテストの最適化とプロセス・コスト構造改善
●
富士ゼロックスアドバンストテクノロジー株式会社

ソフトウェアが大規模化／複雑化する中、品質を維持しながら合理的にテスト工数を削減する方法が期待されています。富士ゼロックスでは、この課題を解決するために、品質工学で使われている直交表を活用してソフトウェアテストを行う独自の技法「HAYST法」を確立し導入しています。ツールを活用したテスト自動化について紹介いたします。

### 3Dリモート可視化ツール NICE DCV
●●
Infiniware株式会社

NICE DCVはWindowsおよびLinuxデスクトップ環境で動作しているグラフィックを多用する3Dアプリケーションに対して安全かつ最適化されたリモートアクセスを行うためのソフトウェアです。

### 紙帳票による保全可視化ソリューション
●●■■
富士ゼロックス株式会社

セミナーS-02でもご紹介する弊社　竹松事業所でも使用している紙帳票（点検記録など）から数値データをOCR抽出し、設備状態の傾向監視（グラフ化）を実現し、保全業務改善を支援するソリューションをご紹介します。

### 「Dr.Sum EA」「MotionBoard」
●■
ウイングアーク1st株式会社

セミナーS-03でもご紹介する弊社　鈴鹿事業所でも使用しているDr.Sum EA&MotionBoardを実際のデモを交えてご紹介いたします。当日は、製造業様におけるデータ活用事例を中心に見える化イメージをご紹介させていただきます。

### 「発展型　作業分析・作業改善ツール　「TimePrism」
●■
株式会社日本生工技研

「作業分析・作業改善ツールソフト「タイムプリズム」は作業をビデオで撮影し、パソコン上で映像を再生しながら作業分析を行う改善支援ソフトです。日頃の製造業務を行う中でビデオを撮り、誰でも改善活動ができるように、そして効率的に現場のボトルネックを見つけ、その改善策を見出すことができることを目的に開発したソフトウェアです。

### RFID物品管理・工程管理ソリューション「レコピック®」
●●■■
帝人株式会社

「重要な物品や機密文書の入出庫や所在をリアルタイムかつ効率的に把握
指示書や治具などの所在管理によりリアルタイムで工程を管理し、生産の見える化を実現
物品管理に加え作業者の位置情報を把握することで、工程改善を支援

### 点検保守業務ソリューション
●■■
富士ゼロックス株式会社

点検保守業務や生産実績データの記入作業を紙帳票で行っているお客様はまだまだ多くいられます。本ソリューションでは従来の紙帳票を電子化し、タブレットから入力することで入力業務の効率化と即時のデータの見える化を実現します。

### 貿易帳票管理ソリューション
●■
富士ゼロックス株式会社

通関業務において保管されている書類は数多くあり、その保管や必要なときの検索には多くの工数がかかります。富士ゼロックスのDocuWorksを活用することで電子化の促進し、管理の効率化を図ります。

### IT資産／セキュリティ統合管理システム　「MCｏｒｅ」
●
住友電工システムソリューション株式会社

富士ゼロックスが実践するMCoreを使用したPC資産管理の運用実をご紹介すると共に、企業PCの稼働実績を見える化することにより、ものづくりの現場における働き方改革の推進事例をご紹介します。

### 社内申請・承認業務のペーパーレス化で『働き方改革』
●■
インフォテック株式会社

稟議書などの社内申請書の電子化により、社外でも申請・承認を行え、多様な働き方の推進や業務効率化が可能です。
今までの様に紙に記入する感覚で利用でき、シンプルで分かりやすい操作画面の為、紙文化が根強いお客様にもご好評頂いております。

### 『シール・ラベル・パッケージ』の内製化
●■
富士ゼロックス株式会社

シリアルナンバーを刻印したラベルなど1枚1枚異なる内容のラベル出力にはの多くの外注コストがかかっているのではないでしょうか？
小ロット生産や短納期対応、在庫削減にも貢献するデジタルラベル印刷機を、 導入事例・VTR映像・サンプル等を交えてご紹介します。

### RGBワークフローカラーマネージメントサービス
●
富士ゼロックス株式会社

デザイン制作の現場では、ディスプレイやプリンターなど様々な機器で表現される色が異なるために、制作工数の増大や、デザイナーのストレスを招くことがあります。本サービスは機器の色を統一することでこのような問題を解決し、デザイン業務の効率化に寄与します。

他、展示あり。なお、展示については予告なく変更がある場合がありますので、ご了承ください。

## お申込み・お問い合わせ先

■ **お申込み方法**
担当営業にお申し付けください。担当営業にて申込み手続きを行ないます。

■ **お申込み締切**
2017年12月1日（金）

■ **お問合せ先**
富士ゼロックス株式会社
大手営業事業部　営業推進部　中島　啓之 ／ 土本　卓　TEL: 03-3568-5777

FUJI Xerox

参加無料／事前登録制

# MONOZUKURI Solution Seminar Winter

富士ゼロックス全社改善活動「言行一致」による
お客様の課題解決に向けて

日　時：2017年12月5日（火）～6日（水）
13:00～18:00（受付開始12:45）

会　場：Document CORE Tokyo
東京都港区六本木3-1-1　六本木ティーキューブ5階

主　催：富士ゼロックス株式会社 大手営業事業部

協　賛：富士ゼロックス神奈川株式会社
富士ゼロックス多摩株式会社

貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

私共富士ゼロックスはメーカーとしての体質強化活動取り組み、2004年よりTPSを採用しました。

その後生産革新活動はXPW活動（Fuji Xerox Production Way）との名称を変え、さまざまな視点から総原価低減活動に取り組んでまいりました。

今回はこのような弊社の開発/製造の取り組みを、同じ製造業のお客様にご紹介する場として本セミナーを企画し、実際に弊社のものづくりや開発の現場で活動に取り組んでいた担当者からその内容をご紹介いたします。

あわせて弊社が実際に活用し、改善に役立った商品や今の製造業のお客様におやくに立てるソリューションを展示いたします。

ご多忙とは存じますが、この機会にぜひともご来場いただけますようお願い申し上げます。

## 会場・アクセスのご案内

＜住所＞
東京都港区六本木3-1-1
六本木ティーキューブ **5階**

＜交通案内＞
東京メトロ南北線
「六本木一丁目駅」直結

中央改札を出て右（「出口1・2」方面）へお進みください。
屋内エスカレーターで1フロア上がり、右折、そのまま通路に沿ってお進みください。
「出口1」を過ぎた先に、ビルの入り口がございます。
入ってすぐ（左側）のエスカレーターで2階へ上がり、エレベーターをご利用ください。

## セミナープログラム　会場：PatioC　（各回定員：80名）

### 12月5日（火）

#### S-01：基調講演　13:15～14:25

**富士ゼロックスにおける国内モノづくり革新**

富士ゼロックス株式会社
モノ作り本部　生産企画管理統括部
プロフェッショナル・アドバイザー部
エグゼクティブ・アドバイザー

松本　修二

富士ゼロックスでの生産革新活動は2004年よりTPSを基本として取り組みをはじめ、2009年よりXPW（Fuji Xerox Production Way）活動にシフトし取り組んでまいりました。
本セミナーでは、弊社の取り組みについて

①メーカー機能の体質強化活動
②生産革新活動の導入/拡大期
③国内モノづくりの価値向上に向けて
④継続的な成果創出と定着化

をポイントにご紹介いたします。

■プロフィール■

| | |
|---|---|
| 1969年4月 | 富士フイルム（株）竹松工場　入社 |
| 1971年4月 | 富士ゼロックス（株）竹松生産部 |
| 2002年10月 | 富士ゼロックス（株）竹松工場　工場長 |
| 2007年6月 | 新潟富士ゼロックス製造株式会社<br>代表取締役社長 |
| 2010年4月 | 富士ゼロックスマニュファクチュアリング（株）<br>取締役専務執行役員 |
| 2012年7月 | 富士ゼロックス（株）<br>エグゼクティブ・アドバイザー |

#### S-02　15:30～16:30

**劣化予兆診断導入による<br>止まらない工程に向けた活動**

富士ゼロックスマニュファクチュアリング株式会社
竹松事業所
製造部 製造技術グループ 設備技術チーム
チーム長

神部　和宏

装置産業でのラインの品質は設備が作り上げており、如何に故障停止せずバラツキ無く安定稼動を導きだすことがポイントです。安定稼動を阻害するのは機器の劣化であり、劣化を可視化し不安定領域に達す前に手を差し伸べ安定稼動を導き出すことです。それには機器の運転状態を『傾向的』にみて正常な状態を把握すること、『劣化予兆診断』による機器の劣化状態の把握を行うことが必要となります。
又状態確認で劣化予兆が測れない時限で機器を交換し対応を図ることです。
本講演では機器の劣化予兆診断と傾向管理の導入事例や苦労している点を交えこの活動をご紹介させていただきます。

■プロフィール■

- 1981年　富士ゼロックス入社
- 竹松工場にて複合機やプリンターの消耗品生産に17年携わったのち、製造技術Gへ異動
- 2010年　FXMFG設立時同社へ移籍
- 21名のメンバーを抱える設備技術チームのチーム長として、竹松事業所の安定稼動を支える

### 12月6日（水）

#### S-03　13:15～14:15

**生産管理と品質管理を支える<br>BIツールによる「見える化」事例**

富士ゼロックス株式会社
モノ作り本部　生産企画管理統括部
プロフェッショナル・アドバイザー部

田中　俊毅

生産管理では、受注から出荷までのプロセスにおいて、モノと情報を停滞なく流すことがポイントです。その流れを阻む要因を取り除くためには「見える化」が重要ですが、実際には工場の中には紙が溢れ、「見える化」のためのデータを取得しにくい事情があります。また、せっかく構築したシステムが現場の激しい変化に追従できず、すぐに陳腐化してしまうといった課題もあります。
弊社では、BIツールを活用してこれらを解決するだけでなく、品質管理のPDCAを速く回すことで不良コストも削減しました。
本講演では、導入に際し苦労した点なども交えながらこの活動をご紹介させていただきます。

■プロフィール■

- 富士ゼロックスの生産工場で、FAシステム、生産管理システム、基幹システムの設計・開発に30年間従事。専門分野は生産管理システム、生産現場見える化システム。
- BIをテーマにした外部講演多数。「ITシステムの善し悪しを決するのは、テクノロジーではなく人間」であることをシステム構築の信条としている。システム監査技術者（経済産業省）

#### S-04　15:10～16:10

**3Dデータ活用のためのデータおよび図面管理**

富士ゼロックス株式会社
モノ作り本部　生産企画管理統括部
プロフェッショナル・アドバイザー部

坂田　英昭

現在、日本の製造業は海外企業との間で厳しい製品開発競争を繰り広げています。
富士ゼロックスにおいてもこうした環境下で生き抜く為の開発生産プロセス改革を継続中です。
本セッションでは、これまで富士ゼロックスが取り組んで来た3Dデータ活用によるフロントローディング開発、3Dデータを基軸とした設計～生産準備のコンカレント開発の事例を基に3Dデータを成果物とした管理・運用方法をご紹介いたします。

■プロフィール■

大手電機メーカを経て、1988年富士ゼロックス株式会社に入社。開発部門に所属し、小型プリンタのマーキングエンジンの機構設計を担当。

- 2004年小型プリンタ事業が分社化し出来た富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社　機構設計部グループ長として3DCAD、CAE、DDIの展開推進、設計審査改革を実現する。
- 2008年富士ゼロックスに復帰すると、プロセスイノベーション部3DCADグループのグループ長としてI-DEASかSolidworksへのCADの切り替えを行い、3Dによる開発、生産準備改革を進める。
- 2013年～2015年　富士ゼロックス社内の新E-BOM構築タスクメンバーとして企画を立案。
- 2010年より10年以上の現場でのプロセス改革経験を基に、製造業のお客様へのアドバイザリー活動を行って来た。2015年10月よりアドバイザー専任になる。3DやBOMによる業務プロセス改善が得意分野。

## ミニプレゼンテーション　会場：PatioB（各回定員：20名）

### 12月5日（火）

#### P-01　14:40～15:10

**技術伝承ソリューション　技術の見える化**

富士ゼロックス株式会社
ソリューションサービスディール推進部
インダストリー・ソリューション・サービス営業部

「ベテランのノウハウを見える化し、現場力を強化」形式知（見える化された“知”）を蓄積し、その知を活用して業務を進めることで技術伝承は進みます。富士ゼロックスはSECI（セキ）モデルにもとづいたフレームワークで、技術伝承ソリューションを提供します。

#### P-02　15:30～16:00

**顧客への通知書を活用したプロモーション強化**

富士ゼロックス株式会社
GCS事業本部　SE統括 第一技術部
田中　走

通販等のお届け商品に同梱される『明細書』はお客様が必ず目を通すメディア媒体です。明細書に、お客様一人ひとりに最適な情報（販促情報を含む）を印字することで、お客様へのコミュニケーション強化を図ります。OnetoOneプロモーションを実現することで、売上拡大、ブランドイメージ向上やお客様満足度の向上に寄与します。
（展示コーナーでの展示もあります）

#### P-03　16:45～17:15

**商品生産終了プロセス改善における<br>余剰部材廃棄コストの削減**

富士ゼロックス株式会社
IBSS事業本部　製造･流通SS統括　SS第二技術部

メーカーの調達業務における、商品の生産終了プロセスを改善するソリューションです。
商品の生産終了に向けて、使用部材の調達量を調節する業務(EOL業務)を「ArcSuiteおよびEvidenceTracker」を用いてシステム化し、プロセスを適切に管理することで、余剰部材の廃棄コストを低減します。

### 12月6日（水）

#### P-04　14:25～14:55

**商品生産終了プロセス改善における余剰部材<br>廃棄コストの削減**

富士ゼロックス株式会社
IBSS事業本部　製造･流通SS統括　SS第二技術部

メーカーの調達業務における、商品の生産終了プロセスを改善するソリューションです。
商品の生産終了に向けて、使用部材の調達量を調節する業務(EOL業務)を、「ArcSuiteおよびEvidenceTracker」を用いてシステム化し、プロセスを適切に管理することで、余剰部材の廃棄コストを低減します。

#### P-05　16:20～16:50

**煩雑なマニュアル印刷業務を改善する<br>オンデマンド出力システム（ADES）のご紹介**

富士ゼロックス株式会社
GCS事業本部　SE統括 第一技術部
中島　由美子

消費者の価値観の多様化により、さまざまなニーズに応える製品供給が求められる現在、製品のライフサイクルが短縮化しています。それにともないマニュアルなどのドキュメント提供も柔軟で効率的に行うことが求められています。富士ゼロックスが提供するマニュアル印刷業務改善ソリューションにより、印刷現場で発生していた煩雑な作業を改善し、作業ミスの改善や作業工数の削減などマニュアル印刷業務の効率化を実現します。
（展示コーナーでの展示もあります）

#### P-06　17:00～17:30

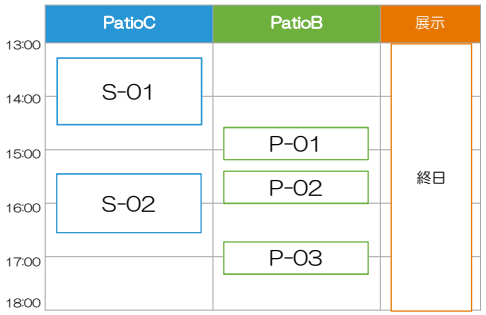
**技術伝承ソリューション　技術の見える化**

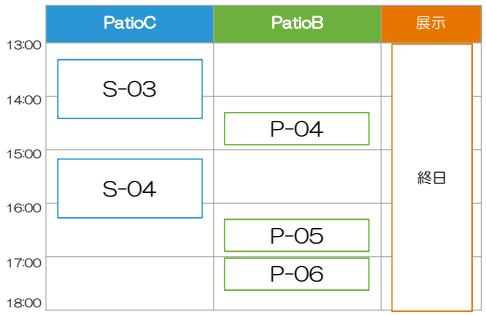
富士ゼロックス株式会社
ソリューションサービスディール推進部
インダストリー・ソリューション・サービス営業部

「ベテランのノウハウを見える化し、現場力を強化」形式知（見える化された“知”）を蓄積し、その知を活用して業務を進めることで技術伝承は進みます。富士ゼロックスはSECI（セキ）モデルにもとづいたフレームワークで、技術伝承ソリューションを提供します。

## 全体スケジュール一覧

### 12月5日（火）




### 12月6日（水）